

## 令和8年度(2026年度) 1学期始業式

420。これは、入学してくる1年生を入れた、生徒・職員合わせた数です。生徒380名、職員40名、計420名が乗った第三中学校という大きな船が、今日ここに、3年生は3月12日卒業式、2年生は3月26日修了式という終着港へ向けて出航します。

船長として、今年も「笑顔・前向き・感謝・尊重」をキーワードに掲げます。

特に「前向き」。これは困難を乗り越える力でもあり、ピンチをチャンスに変える魔法の考え方です。これから先、自分の力ではどうにもならないことや頑張ってもつまずいてしまう、あるいは上手くいかないこともあります。しかし、それで諦めたり人のせいにしたたりするのではなく、成長の一過程としてとらえ、失敗を正面から受け止め、何度でも挑戦し続けましょう。何度失敗しても、失敗はすべて成功への過程のよい経験になるという前向きな考えで、今年を乗り切り、人として成長して行って下さい。

そして、私がこれまで送ってきたメッセージ、

「挑戦した結果の失敗はやむを得ない」

「ピンチこそチャンスだ」

「〇〇の向こう側を目指そう」

「自分はできるという自信を持つ」

に、先日の卒業生への饞の言葉、

「完璧なんてつまらない」

「完璧でないということはまだまだ伸びしろがある」

を加え、一人一人の可能性を私達職員も前向きにとらえ、失敗しても何回でも挑戦できる環境と雰囲気のある学校を創っていきます。

もちろん、旅を天気为例えると、いつも順風満帆(じゅんぱうまんぱん)、無風でさわやかな晴天とは限りません。時には、雨・雪・雷・台風・突然の災害、アキレス腱を切るなどのアクシデント・ハプニング・トラブルがあるかもしれません。でも、皆さんと先生たちの知恵と勇気を出し合い、2つのそうぞうカーイマジネーション・クリエーションを働かせて、協力して乗り切っていきましょう。

ただ、船員同士のいじめは絶対にあってははいけません。他人に矛先を向けるのではなく、自分を見つめ、自分の心を磨き、正義とセルフコントロールという真の強さを身につけた、誰からも好かれる優しい人を目指しましょう。

新しい学級での新しい友だち、新しい担任・新しい教科担当・新しい部活動の先生たち、もちろん継続してお世話になる先生達と「うきうき・ドキドキ・ワクワク」の旅が始まります。旅の途中、各学年・各学級・個人で、時には主役、時には主役を支える役、時には裏方として、素敵な物語を創って行って下さい。皆さんがこれまで蓄えた力を発揮したり、さらに力を蓄えたりできるような旅となることを私は切に願っています。

結びに、生徒の皆さん・先生・お家の方・地域の方たちで協力し合い、私たちの心の中に笑顔・前向き・感謝・尊重できる人間性の向上というお土産がいっぱいの、第三中学校という船に乗ってよかったと言えるようにしていきましょう。

私は、船長として、校長として、そして、皆さんと先生方の応援団長として、全力で支援と応援し続けます。

来年の卒業式や修了式という終着港に着いたときに、三中という船に乗ってよかったと言える、後悔しないよい航海としていきましょう。

終わります。